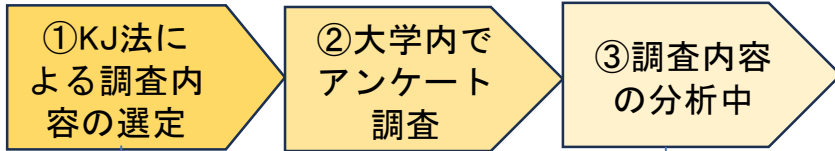


ソーシャルスキルラボ

ラボの課題

苦手な対人コミュニケーション場面を調査し、トレーニングプログラムを通してソーシャルスキルの向上を図る

春学期の活動内容



身近なコミュニケーションに関する問題を話し合い具体的な質問内容を考えた

アンケートを作成し講義に出向き学生に協力してもらうなどして回答を集めていった

数値をグラフ化、回答してもらった情報をツールを用いて分析している

アンケート内容

1回目 (267人)

- ・ 苦手なコミュニケーションの場面とその詳細

分かったこと

- ・ 多くが授業内でのグループワークを苦手としている
(これをもとに次のアンケートを作成)

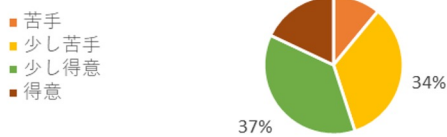
2回目 (302人)

- ・ グループワークを得意としているか
- ・ なぜ苦手なのか (自分の要因や周りの人や環境について)
- ・ 話すとき意識していること
- ・ 理想的なコミュニケーションについて
- ・ 自分が欲しいスキルなど

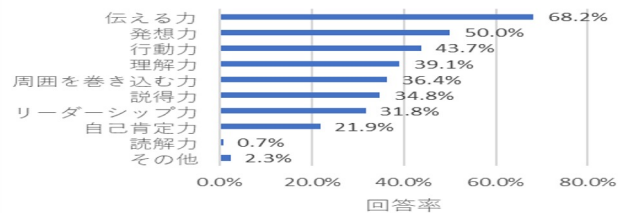
調査結果

全学部対象

グループワークに対する意識



自分が欲しいスキル



分析中

- ・ グループワークに対する意識調査は得意55%、苦手45%という結果になった
- ・ グループワークが得意な人も苦手な人も「伝える力」というコミュニケーション能力を上げたいということが分かった

今後の予定

さらに細かい分析を行いその結果を基にトレーニングプログラムを作成し、実行する

担当教員 : 横山ひとみ

所属学生数 : 6人

ポスター制作 : 河上知哉 近藤薫 上岡祐大 菅佑真 藤原耀 武鍵悠吾